

平成30年12月10日招集

第14回鏡石町議会定例会

町長説明要旨

師走に入り、寒さも増して今年も残すところ20日余りとなって参りました。本日ここに、第14回鏡石町議会定例会の開会にあたり、町政運営に当たっての所信の一端を申し述べるとともに、提出いたしました議案の概要について、ご説明申し上げます。

議員各位並びに町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

安倍首相は、9月に実施された最後の任期となる自民党総裁選を勝利し、10月2日第4次安倍改造内閣が発足しました。首相は会見で、この度の改造内閣を「明日の時代を切り開く全員野球内閣だ」と名付けましたが、安倍内閣としては最も多い12人の初入閣や女性閣僚が一人にとどまったことなどから、野党からは批判の声が相次ぎ、首相の強いリーダーシップが求められています。

また、東北地方では唯一、本県選出の根本匠氏が厚生労働大臣として入閣し、「厚生労働行政は、国民生活の中でも大きな柱。全身全霊を傾けて取り組みたい」と決意を表明しました。社会保障制度の構築は国民が安心できる持続可能な大きな課題であり、国・地方が直面する様々な課題の解決に向けて、政府、与野党協力して、果敢に取り組まれることを期待したいと思います。

今年のノーベル医学・生理学賞の受賞者に、免疫の働きを抑えるブレーキ役となる物資を発見し、がんに対して免疫が働くようにする新たな治療薬の開発などに貢献した、京都大学特別教授の本庶 佑氏（ほんじょ たすく）京都生まれ

76歳が選ばれました。受賞の理由として「新しいがん治療の方法を発見した」ことが挙げられ、これまでの外科手術や放射線治療、抗がん剤治療のようにがんそのものを対象とするのではなく、わたしたちの体に備わった免疫細胞を利用することで、あらゆるタイプのがん治療に応用できる新しい治療法である画期的な発見とされています。二人に一人ががんに侵される今の時代にあって、誰もが、安価に受診できる医療の提供が望まれていると思います。

任期満了に伴う福島県知事選は、無所属で現職の内堀雅雄氏が再選を果たしました。内堀氏は、1期4年の実績を踏まえ、復興と地方創生への施策の継続性を県民に訴えてきましたが、これまでの評価が認められた結果となりました。今後4年間の県政のかじ取りを託された内堀氏は、福島の復興、地方創生を担う責任に身を引き締め、真価が問われる2期目に向けた決意が語られました。

アメリカメジャーリーグの最優秀新人選手賞が11月12日発表され、エンゼルスの大谷翔平投手が受賞しました。日本人の歴代新人王は、野茂、佐々木、イチローに次いで4人目となり、バッターと投手の二刀流での新人王受賞は史上初となりました。大谷選手の偉業には、日本中が喜ぶなど今後の活躍に大いに期待したいと思います。

11月の内閣府月例報告によると、日本経済は本年1月から継続して「景気は、緩やかに回復している。」とされ、先行きについては、「雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。」

と報告されています。政府は経済財政運営と改革の基本方針2018、未来投資戦略2018等を着実に実現し、全ての世代が安心でき、活躍できる全世代型社会保障制度及び来年10月に予定されている消費税率の引き上げを控えた経済財政運営に万全を期すとされています。

町におきましても、平成31年度の予算編成に向けて、先月19日に予算編成説明会を行いました。現在、各課において予算編成作業を進めておりますが、限られた財源で最大の事業効果を発揮するよう一層の創意工夫を凝らし、持続可能な財政構造の確立に向け、徹底したムダの削減と補助制度等を有効活用することを最優先事項とするよう指示したところであります。

次に、町における9月以降の主な出来事について報告いたします。

10月6日には、鏡石「牧場の朝」秋祭り実行委員会の主催による鏡石「牧場の朝」オランダ・秋祭りが商工会や関係団体との連携により、盛りだくさんの内容で盛大に開催されました。当日は、台風の影響も心配されましたが、天候にも恵まれたことから、約4万人の多くの皆様にご来場いただき喜んでいただけた一日となりました。関係者の皆様のご協力に感謝を申し上げる次第であります。

また、今年度の「田んぼアート事業」につきましては、6月2日の田植え以降、記録的な猛暑や9月の長雨の影響などがあり心配されたところでしたが、今年も町内外から多くの方に観覧いただきました。また、今年度から初めての試みとし

て「田んぼアート応援サポーター」を募集しましたところ、21名の方からサポーターとして支援をいただいたところであります。

現在は、3年目となる田んぼアートLEDイルミネーション事業「きらきらアート」へ進化し、昨年に引き続き、年間観覧者も3万人を超えるなど、多くの方に観覧いただいております、初夏から初冬へ変化していく鏡石町の観光スポットとして定着してきております。

「第13回鏡石駅伝・ロードレース大会」は、11月4日、ロードレース部門と駅伝部門に1,958名の参加をいただき開催しました。天候にも恵まれ各部門で健脚が競われ、鏡石町から元気を発信できたのではないかと思います。

大会実施にあたっては、町交通安全協会、町消防団など多くの関係機関団体の皆様のご支援・ご協力をいただきましたことを改めて厚く御礼申し上げます。

11月11日には、平成30年度「東京かがみいし会」総会が東京グリーンパレスで盛大に開催されました。新規会員として2名の入会もあり、テーブル対抗によるクイズやカラオケが披露され、ふるさと鏡石の近況になつかしさが盛り上がる和やかな総会となりました。

11月18日に行われた第30回ふくしま駅伝では、6年連続町の部6位となり、総合の部では17位の成績を収め、夕方には選手の家族も加わり解団式を行いました。

各選手は、それぞれの区間での目標タイムのクリアを目指し、95.0km1

6区間を5時間24分32秒の記録を残す、選手団全員のチームワークでタスキをつないだ大会となりました。

郷土の期待と声援を受けて、自己ベストを目指して走り抜いた選手の皆さんのこれまでの努力と、指導に当たられた監督、コーチの健闘をたたえとともに、沿道で熱い声援をいただいた多くの町民の皆様に感謝申し上げます。

これからも、「駅伝のまち、鏡石」として中学生、高校生、そしてベテランの力が調和した素晴らしいチームづくりに向けて、さらにタスキがつながることを期待したいと思います。

次に、本年度の主な主要事業の執行状況についてご報告いたします。

原子力災害対策関連事業につきましては、久来石地区と高久田地区の2ヶ所の仮置場原形復旧工事を年度内完了に向けて着手したところであります。

また、自家消費野菜等の放射能汚染検査については、現在まで国の基準値を超えるものは検出されておられません。今後も引き続き町民の安全・安心な食生活の確保のため測定業務を進めて参ります。

福島県管理の下、実施されている「米の全量全袋検査」については、11月末でほぼ終了し、昨年に引き続き基準値を超える放射性セシウムは検出されておられません。また、米以外の農作物についても、現在のところ検出されたケースはありませんが、引き続き放射能汚染検査を実施し、安全安心を確認して参ります。

道路等側溝堆積物撤去・処理支援事業につきましては、前期分鏡田東工区、仁井田・鏡石4区工区、さかい工区の撤去業務がほぼ終了し、後期分として笠石西工区、笠石東工区、旭町工区につきましても順調に作業が進捗しております。

また、土砂堆積物の仮置場からの搬出作業につきましても、11月から搬出を開始し、計画どおりに進捗するように努めて参ります。

次に、第5次総合計画の5つの行政分野別における状況であります。一つ目の「町民の力を合わせて、新しい鏡石をつくります」として行財政の改革として取り組んでいる町税等収納率向上対策事業については、平成28年1月から運用を開始した「コンビニ収納業務」の24時間対応という利便性から、10月末の納付実績で7,074件（前年比407件の増）、税額では約4,000千円上回る94,601千円が納付されております。改めて納税環境の拡大による効果が広がっているものと実感しており、収納率向上のツールとして大きな役割を果たしているところです。

社会保障・税番号制度につきましては、現在本格稼働に向け準備作業が進められているところであります。マイナンバーカードの発行状況につきましては7月末現在全国で11.5%、本町においては11月12日現在、1,248件で9.8%の交付割合となっております。引き続き本制度のカード発行の推進に努めて参ります。

二つめの「心豊かで人を育て、地域文化を大切に作る鏡石をつくります！」として、教育・文化・スポーツ・健康づくり事業に取り組んでおり、各学校・幼稚園においては、2学期も間もなく終業式を迎え、学習成果の発表会等の行事が開催されるなど充実した学習活動が行われているところです。

中でも、小学校では、11月に3年生から6年生までを対象にふくしま森の科学体験センター「ムシテックワールド」で理科教室を開きました。子どもたちの理科離れが問題になっている中、実験や工作などのプログラムを体験し、理科授業に対する想像力や思考力が深まるものと期待しております。

中学校においては、9月に今年度から中学1年生を対象として、福島県環境創造センター「コミュタン福島」で放射線に対する理解を深めるための体験学習を実施したところです。

鏡石幼稚園の園舎屋根改修工事につきましては、9月に工事を発注し、11月末に竣工となりました。今後、より良い環境での保育が行われるものと期待しております。

次に、生涯学習機会の拡大とスポーツの振興では、生涯学習文化協会との共催事業による秋の文化祭が10月27日と28日の2日間、公民館をメイン会場に展示部門に909名、1,276作品、囲碁・将棋・謡曲の大会部門41名が参加し、日頃の学習の成果を発表しました。

また、10月20日には、秋の文化祭に先立ち公民館で文化芸能祭が開催され、

16団体、138名が舞踊や歌謡・コーラスなどに会場から盛んな拍手がおくられました。

次に、町民の健康診断と健康づくりについては、今年度の集団健康診査後の10月から11月にかけて、特定保健指導対象者に対して、健診結果をもとにした「健診結果説明会」を保健師や管理栄養士が個別に行い、自らの健康状態や生活習慣の改善すべき点を確認し、目標を設定した行動に移すことができるための保健指導を実施したところであります。

さらには、一般町民を対象に専門医による「胃がん治療」や「肺炎予防」についての健康セミナーを開催し、病気と予防についての理解を深めていただいております。

また、高齢者食生活改善訪問事業「生き生き幸せ食生活応援団事業」については、管理栄養士や保健師による高齢者訪問や栄養教室、幼稚園・保育所での食育教室にも取り組んでいるところであります。

三つめの「地域で支え合う、人にやさしい鏡石をつくります！」につきましては、高齢者福祉の充実として、平成30年度から平成32年度の第8期高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画に基づき、認知症や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けるための「地域包括ケアシステム」の構築に努めているところであり、そのひとつとして、鏡石町協議体「みんなで支え合うまち

づくり会議」では、日々の買い物に苦勞されている高齢者等の支援のため、協議体のメンバーが直接、商店を訪問し、「便利マップ（仮称）」の制作に取り組んでおり、完成後には、町民の皆様にお配りする予定であります。協議体では、継続して地域の課題やそれに対する取り組みについて、一緒に考え活動することとしています。

また、町内9つ目の住民主体のサロン「高久田あーさー♪サロン」が9月29日に開所式が行われました。引き続き、サロンの推進による「高齢になっても元気で生きがいを持ち、住み慣れた地域で、自分らしくいきいきと安心して暮らせるまちづくり」を目指して取り組んで参ります。

児童福祉の充実につきましては、平成31年度の認可保育施設と町立幼稚園の入所・入園申込を10月15日から11月2日まで実施したところ、372名の申込を受付したところです。これから各施設と利用調整を行い、平成31年1月には保護者の皆様に入所承諾の通知をできるよう事務を進めているところです。

平成27年度から天栄村と共同で消費者生活相談室を設置しております消費者行政事業につきましては、昨年度の相談件数12件に対し、今年度相談件数は11月16日時点で8件となっております。近年詐欺事件の多様化が進み不安に思う事例も多くなっておりますので、困ったときの相談先として今後も継続して取り組んで参ります。

四つめの「新しい産業を開花させ、活力あふれる鏡石をつくります！」については、平成30年産水稻の作況指数が福島県中通り地方で「101」と発表がありました。春先からの高温少雨及び羽鳥ダム貯水量の大幅な低下による渇水に伴い、一部末端においては、水不足による生育不良の被害が生じたところもありますが、本町においては全体として、概ね収量及び品質とも例年並の状況でありました。

平成30年産からは、行政からの配分によらず需要に応じた米の生産となったところではありますが、町の主食用米作付面積は29年産米から増加し、飼料用米などへの転換が進んでいない状況であることから、関係団体と連携しながら、農業経営の安定を図るため引き続き対応して参ります。

野菜及び果樹については、高温少雨の影響により、収穫適期が早まり、収量への影響が見られる中、特に夏秋キュウリにあつては、水不足の影響による収量が減少する被害も生じたところでもあります。果樹にあつては、台風の影響により、一部果実の落下や風による傷が発生するなどの被害が出ており、今後の販売への影響が心配されるところです。

また、当町の農業振興の課題である農業従事者の高齢化、後継者不足と耕作放棄地対策の解消に向けた人・農地プランの策定を進めており、11月27日から30日にかけて、町内8地域において、地域座談会を開催したところでもあります。座談会では、各地域での課題などが話し合われ、課題解決に向けて、人・農地プ

ランの改定を図りながら将来の鏡石町農業の振興に努めて参ります。

農地再生プロジェクト事業「田んぼで油を採ろう・かがみいし油田計画」は、実証ほ場及び南町ほ場から収穫されたなたねの搾油作業も終了し、合計424kg（一斗缶換算で約25缶）のなたね油が出来上がりました。今後町内各小中学校に提供するとともに、町内飲食店等へ試供品として利用していただく計画をしております。また、エゴマについても、現在乾燥調製を行っており、なたね油同様搾油作業を進め、年明けには、鏡石産エゴマ油として、提供できるものと考えております。今後とも実証を重ね、耕作放棄地対策はもとより、町の面積の半分を占める農地の維持と都市環境との調和を図るため、生産拡大に努めて参りたいと考えております。

鏡石まちの駅「かんかんてらす」については、オープンから6ヶ月が経過し、11月末で、延べ来観者数が26,297人、売上額は農産物や特産品、手工芸品など、9,448,716円となっております。さらに、町の観光情報の発信拠点としても活用され、町の賑わいの創出と憩いの場として寄与しているものと考えておりますので、なお一層、「かんかんてらす」の利活用を図り、町の玄関口として親しまれる施設となるように努めて参ります。

魅力あるまちづくり事業といたしましては、今年度初めての試みとして、「かがみいしインスタフォトコンテスト」を実施しているところであります。第1回の募集では、78作品の応募があり、魅力あるまちづくり実行委員会の審査で各

賞が選定されました。第2回目の募集につきましては先月で終了となったところではありますが、インスタフォトコンテストは、スマホなどにより気軽に撮影し応募ができることから、今まで気づかなかった鏡石町の魅力が再発見されるものが多数応募されました。

五つめの「快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります！」における鏡石駅東第1土地区画整理事業につきまして、第1工区5区画分の保留地販売につきましては、4区画の販売が決定いたしました。残り1区画につきましても、販売が完了できるようにPRに努めて参ります。

第3工区の進捗につきましては、換地計画（案）の地権者説明を個別に実施して参りましたが、現在、地権者の意見を集約し取りまとめの作業を実施しております。来年度から、工事に着手できよう設計・調査などの業務を進めて参ります。

町内道路網の整備事業では、国道4号拡幅に伴う中外線道路改良工事、町道89号線大池交差点接続工事など主要事業の工事発注を行い、現在工事が進んでおります。また、岡ノ内地内道路整備事業では、5名の地権者の用地交渉が完了しましたので、来年度の着工に向け準備を進めて参ります。

都市公園等管理業務・グリーンロード整備事業においては、春・夏・秋の管理業務が計画的に完了し、11月には「あやめ株式会社」などのボランティアの協力を頂きながら、花壇へパンジーなどの花やチューリップ球根の植栽を実施し、

秋から次の春へ向けた公園づくりを進めております。

次に、水環境の基盤整備である上水道第5次拡張事業については、新浄水場の建設工事の発注に必要となる工事費の積算を行い、来年度発注の準備を進めております。その他の拡張事業につきましては導水管、配水管の布設工事及びJR東北本線の線路下に配水管を布設する推進工事につきましては、JRより設計確認の許可が下りましたので、2月末完了に向けて工事を発注しました。

また、国道4号拡幅関連支障物件移転についても、関係機関と協議のもと、給配水管の布設替工事の準備を進めております。

公共下水道における社会資本整備総合交付金事業による下水道施設の長寿命化対策については、平成28年度に実施した管路の緊急度調査に基づき、順次更新工事を実施しておりますが、今年度分の更新工事については、今月中に竣工の予定であります。

次に、今定例会に提出いたしました議案の概要について申し上げます。

報告第50号 専決処分した事件の承認につきましては、福島県市町村総合事務組合規約の変更について専決処分したものであります。

議案第233号 郡山市と鏡石町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結については、郡山市を中心市とした、4市7町4村による連携中枢都市圏形成への手続きとなる連携協約の締結について議会の議決を求めるものでありま

す。

議案第234号 平成30年度一般会計補正予算（第3号）につきましては、主な歳入として、子どものための教育・保育給付費負担金の増、主な歳出は、地区集会所空調設備の設置費、保育に係る施設給付費、図書館空調設備改修工事費の増など総額で35,113千円の増額補正予算であります。

次に、議案第235号 鏡石町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、療養給付費、保険基盤安定繰入金の確定に伴い補正をするものであり、議案第236号 鏡石町介護保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、介護サービス給付費の増に伴い予算の組み替えをするもの、議案第237号 鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）につきましては、事業調整により予算を組み替え、前倒しで事業の進捗を図るものであります。

次に、議案第238号 公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、流域下水道維持管理負担金の前年度清算に伴う補正であり、議案第239号 鏡石町上水道事業会計補正予算（第2号）につきましては、取水施設及び浄水場管理費用の増に伴い予算の組み替えを行うものであります。

以上、今定例会にあたりまして、町政運営と、提出いたしました議案の概要についてご説明申し上げました。何とぞよろしくご審議いただき承認、議決賜りますようお願い申し上げます。